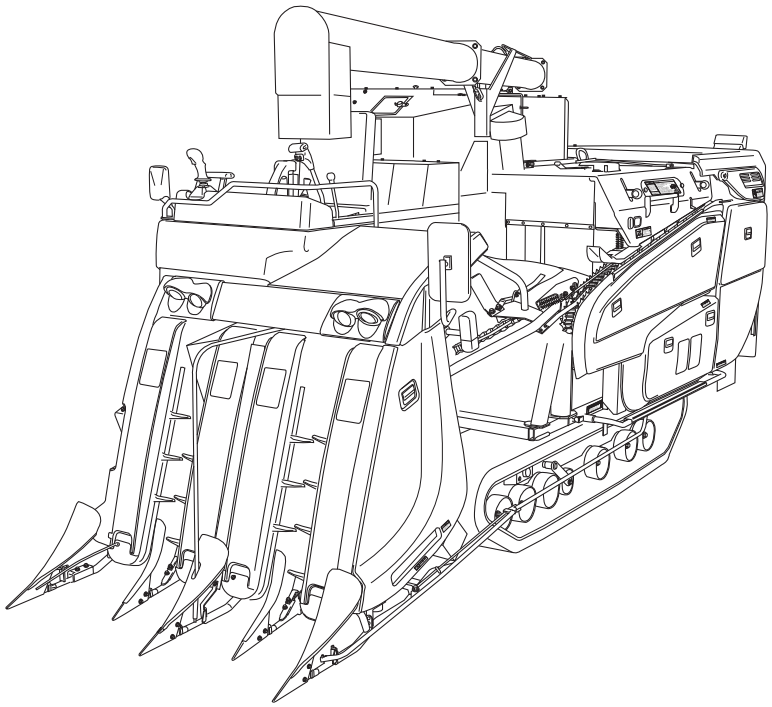
コンバイン

取扱説明書

VG563ET(H)・VY463ET



ご使用前に必ずお読みください
身近なところに大切に保管してください

●はじめに

この取扱説明書は［VG563・VY463］型と異なる点のみをまとめて説明しています。

本書に記載以外の項目については［VG563・VY463］型の取扱説明書をご覧ください。

もくじ

安全作業のために …… 1

1．表示ラベルについて …… 1

仕様と装備 …… 2

各部のはたらき …… 3

1．各部の名称 …… 3

2．運転装置の取扱い …… 4

1．シートスライドレバー …… 4

2．ナローガイド（左）の調整 …… 4

3．カッタ排ワラ切替レバー …… 5

手入れのしかた …… 6

1．各部の点検と部品交換のしかた …… 6

1．カッタ刃組品の取外しと分解 …… 6

付　　表 …… 13

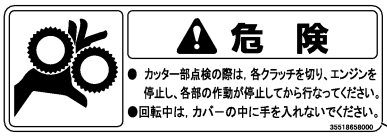
1．主要諸元 …… 13

2．アタッチメント（別売り） …… 14

安全作業のために

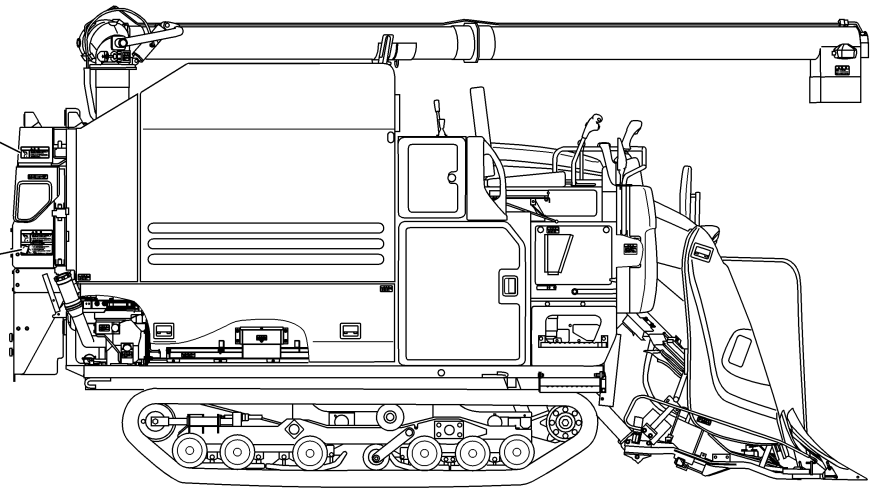
1．表示ラベルについて

⑰［ＥＴ・Ｈ仕様のみ］



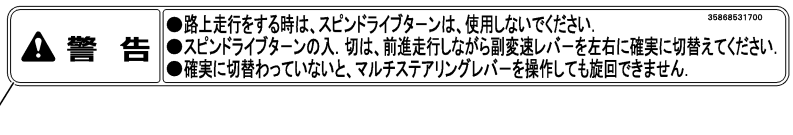
⑫［ＥＴ・Ｈ仕様は除く］

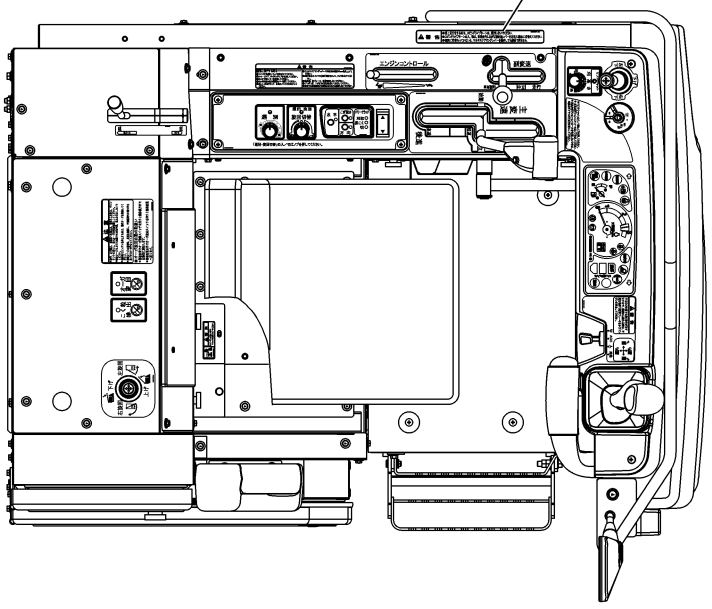




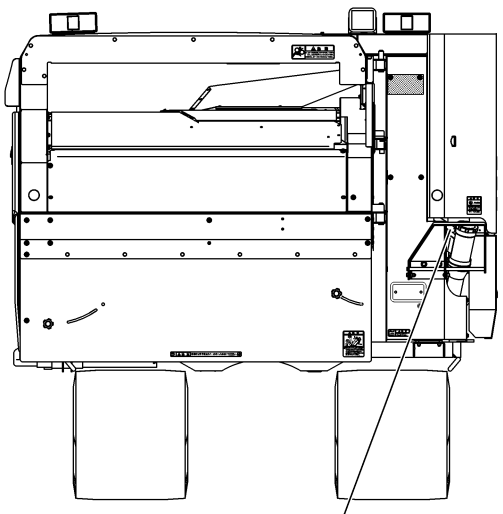
36060005b

①［ＥＴ・Ｈ仕様は除く］





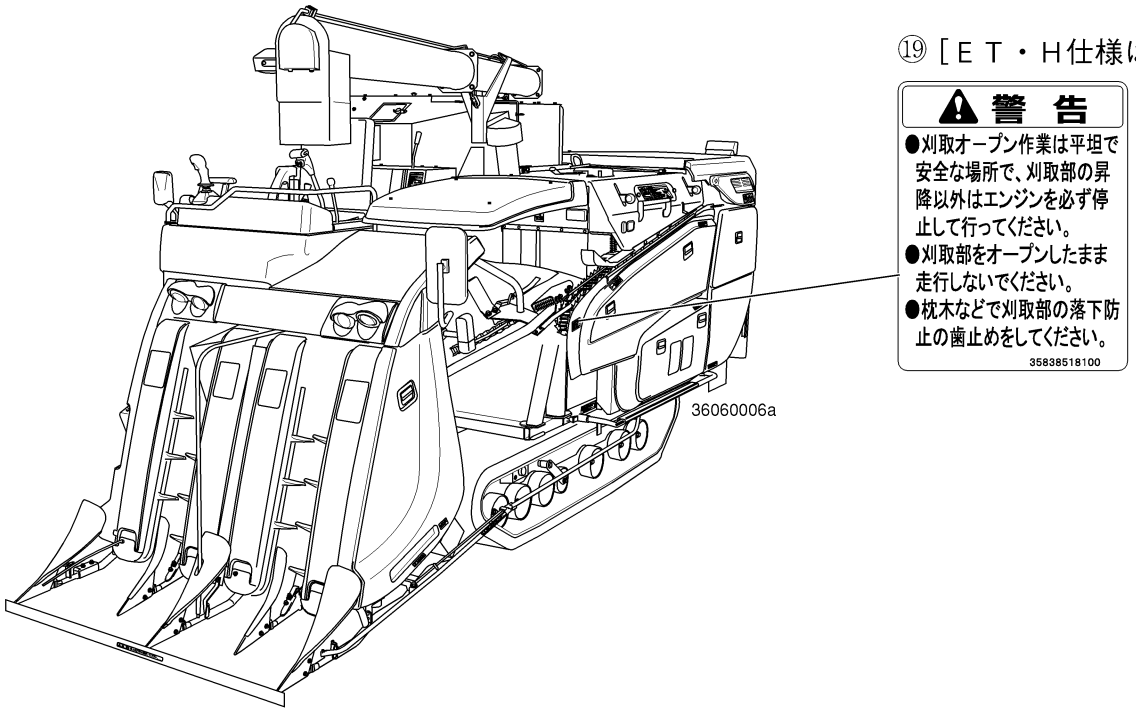
36060015a



36060008

㉗［ＥＴ・Ｈ仕様は除く］





No.	部　品　名　称	部　品　番　号	備　　考
①	ケイコクマーク	3586 8531 700	［ET・H仕様は除く］
⑫	キケンラベルカッタ	3592 8557 000	［ET・H仕様は除く］
⑰	キケンラベル・カッタ	3551 8658 000	［ET・H仕様のみ］
⑲	ケイコクラベル	3583 8518 100	［ET・H仕様は除く］
㉗	チュウイラベル	3559 8523 500	［ET・H仕様は除く］

仕様と装備

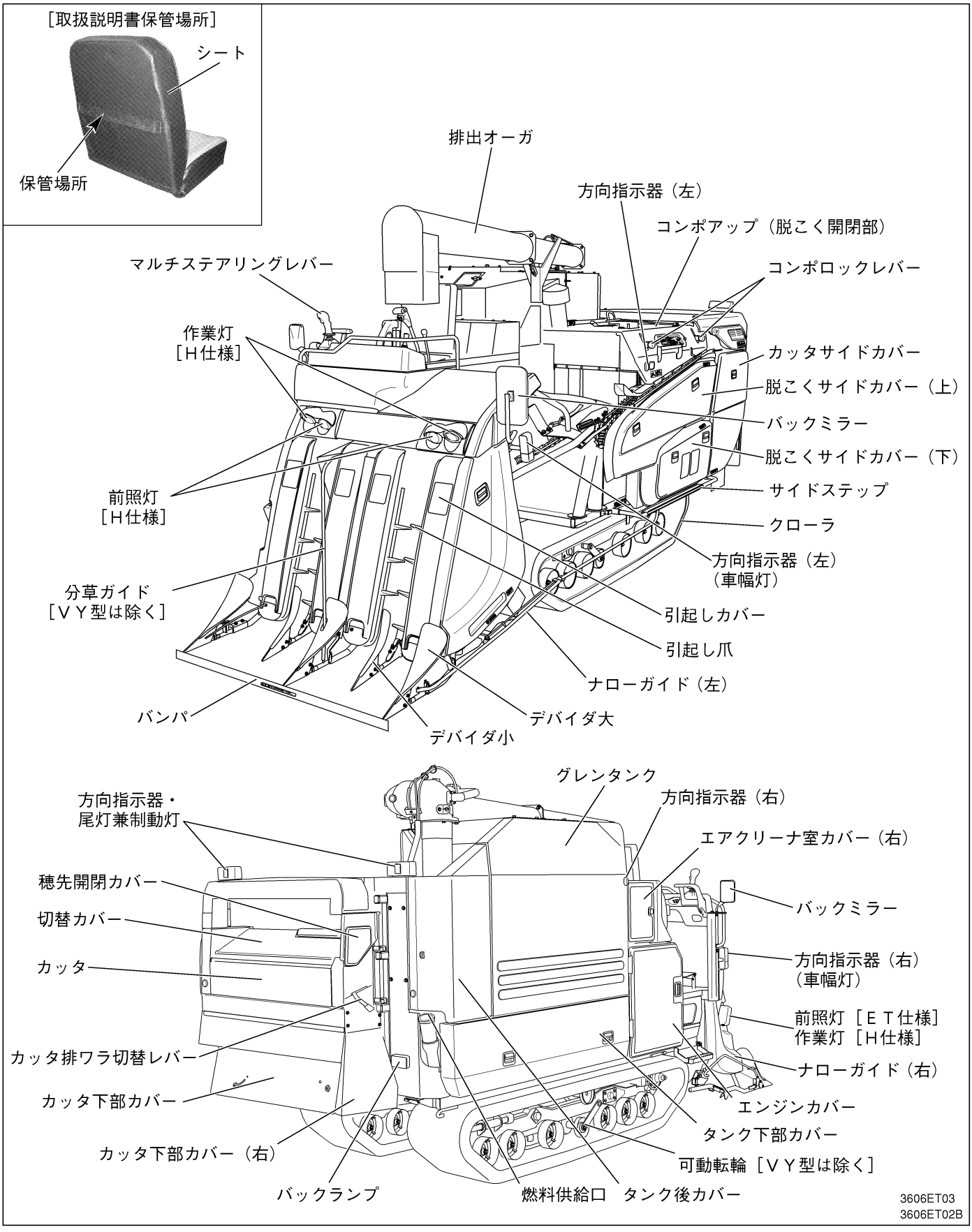
・お買いあげの機械の型式と主な仕様の違いを，次の表でお確かめください。

型式名 ＼ 仕様（装備） 区分	エンジン 型式	出力（参考）	HST+副変速2段	クローラ ハイラグクローラ450mm	クローラ ハイラグクローラ500mm	クローラ ハイラグクローラ550mm	フルモードターン	ブレーキターン	座席シート（DX）	座席シート	可動転輪	電動集中注油	ジャストディレクタ	増速ツインこぎ胴	ニューツインハーモニー	ニューコンポアップ	揺動スライドオープン	グレンサイドオープン	刈取部サイドオープン	籾満杯予告シグナル	負荷モニタ	籾充填モニタ	リフトシャット	緊急エンジン停止スイッチ	防じんカバー	刈高ポジションコントロール	左ナローガイド手元操作	排ワラ切換手元操作	強制掻き込みスイッチ	倒伏刈スイッチ	湿田ダイヤル	撥水加工揺動板	オーガ排出手動クラッチ	オーガ操作有線リモコン	オーガ先端操作有線リモコン	オーガフラップ	自動化機構 拡散ラセン	こぎ深さ自動	方向自動	選別自動・MAC—Air	オーガ自動旋回・収納	水平自動	フィードチェン回転同調	送じん量自動調節	グレンタンク1500L	カッタ ディスクカッタ60mm	マルチカッタ60/180mm	マルチカッタ40/160mm	CD・オーディオ付キャビン	バックモニタ
三菱VY463	ET	S4Q2—T	63.4PS	○	○				○		○		○		○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○			○	○		○	○				OP	○	OP	○	○	○	○	○	○	○				
三菱VG563	ET			○	○				○		○	○	○		○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○			○	○		○	○				OP	○	OP	○	○	○	○	○	○	○				
	H			○	○				○		○	○	○		○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○			○	○		○	○				OP	○	OP	○	○	○	○	○	○	○				

OP：ディーラオプション

各部のはたらき

1．各部の名称



2．運転装置の取扱い

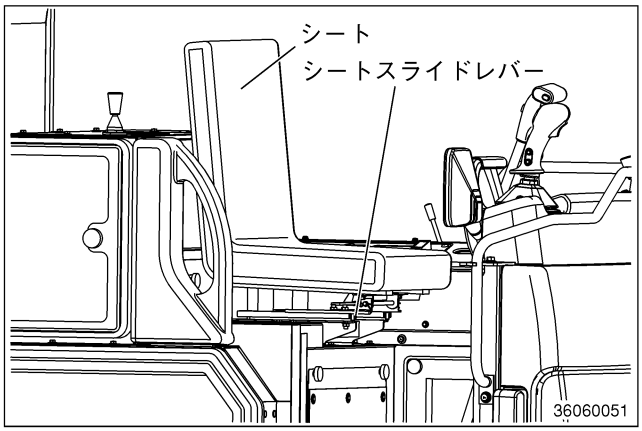
1．シートスライドレバー

運転者の体格に合わせ着座位置を前後にスライドさせます。

(1) レバーを上方に回動します。この状態で固定が外れます。

(2) シートを前後にスライドさせ，最適位置でレバーから手をはなします。

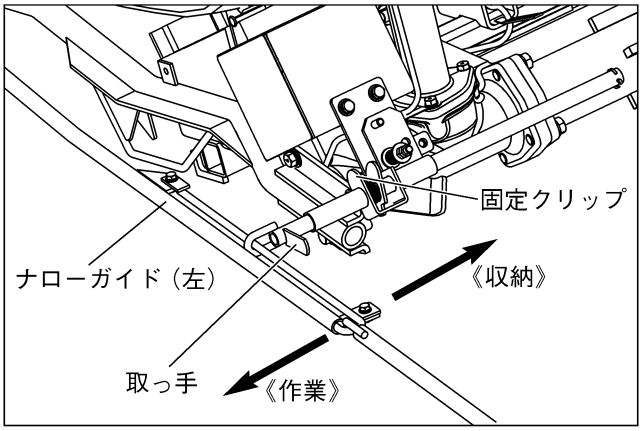
(3) その位置で固定されます。



2．ナローガイド（左）の調整

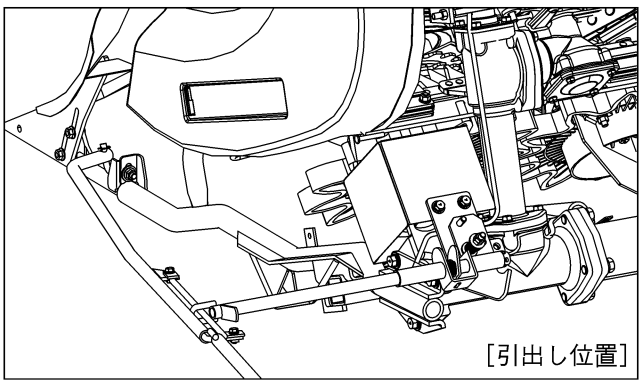
ナローガイド（左）の固定クリップを指で強くつまんで，ナローガイドの固定を外し，取っ手を持ちナローガイドを引出し，作業状態にします。

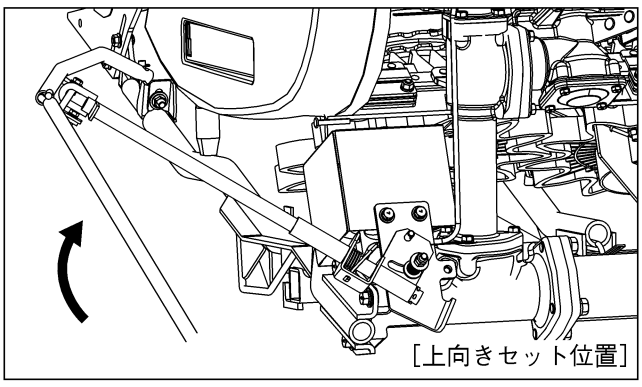
通常走行時には収納します。



取扱いのポイント

- **長稈材等で未刈稈が倒れ込み，脱こく入口部の搬送に支障がある場合は，「上向きセット」にして作業を行います。**
- **ナローガイドを引出した状態で上に引き上げます。こうする事で，ナローガイドは上向きになったまま固定されています。（上向セット）**

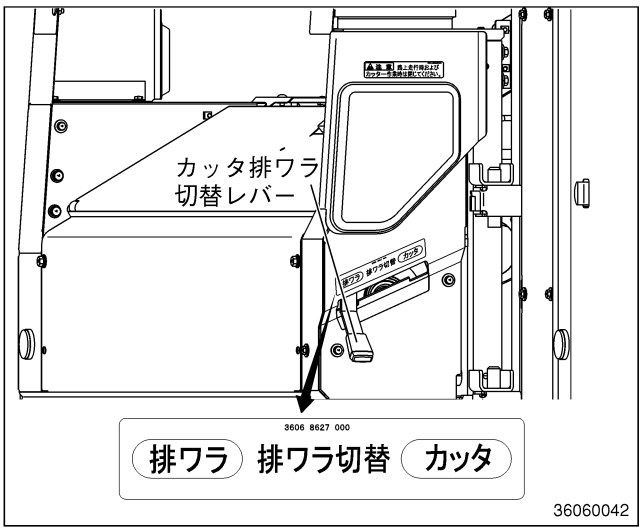




3．カッタ排ワラ切替レバー

カッタ作業または排ワラ作業の切替えをするレバーです。

・切替え操作は作物が搬送途中にないことを確認してから行います。



《**カッタ**》……ワラをカッタで切断します。

《**排ワラ**》……ドロッパ作業，ワラをそのまま排出する作業。

手入れのしかた

1．各部の点検と部品交換のしかた

・各部の点検および部品交換は「**お買いあげ先**」にて行います。

1．カッタ刃組品の取外しと分解

⚠危険 傷害事故防止のために

◆カッタをオープンしてカッタ刃組品の取外し，分解をする時はエンジンを停止し，平坦な場所に機械を静置してください。

◆刃の交換作業は，厚手の手袋を着用し２人作業で合図をし合って行なってください。

⚠注意

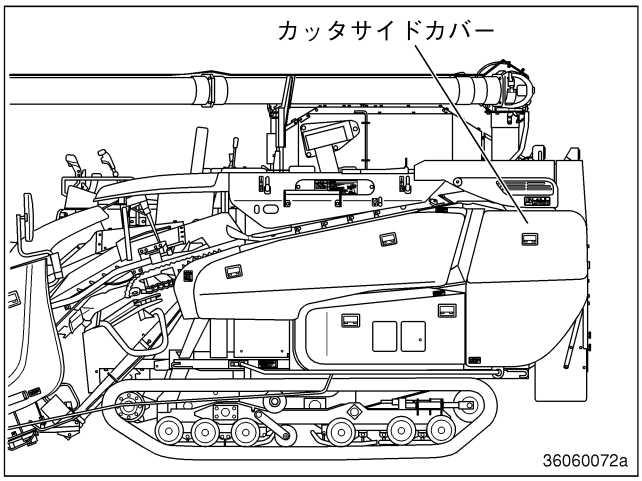
◆各部の点検と調整で外したカバー類は，全て元の位置に取付けてください。

カッタ刃組品（ノコ刃，スターホイル刃）の交換方法

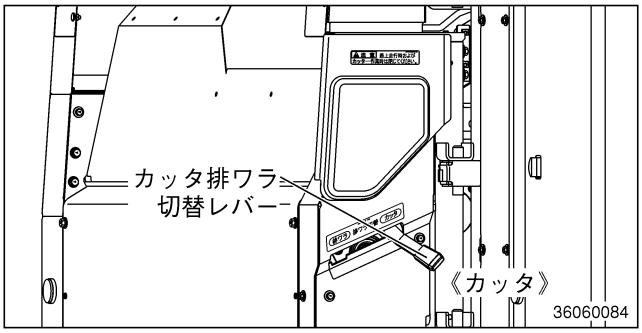
- **ノコ刃軸はカッタをオープンせず後側より取外します。**
- **スターホイル軸はカッタをオープンして前側より取外します。**

❶ ノコ刃軸の交換

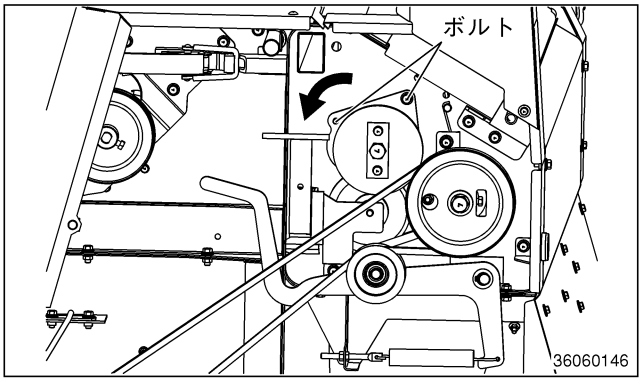
(1) カッタサイドカバーを取外します。



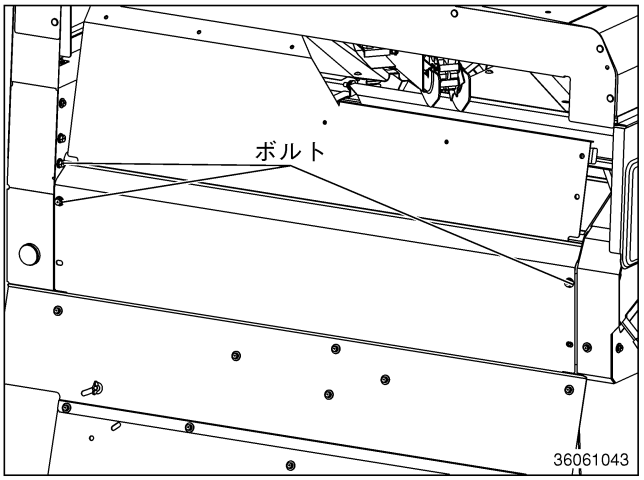
(2) カッタ刃の交換は，カッタ排ワラ切替レバーを《**カッタ**》位置にして行ってください。



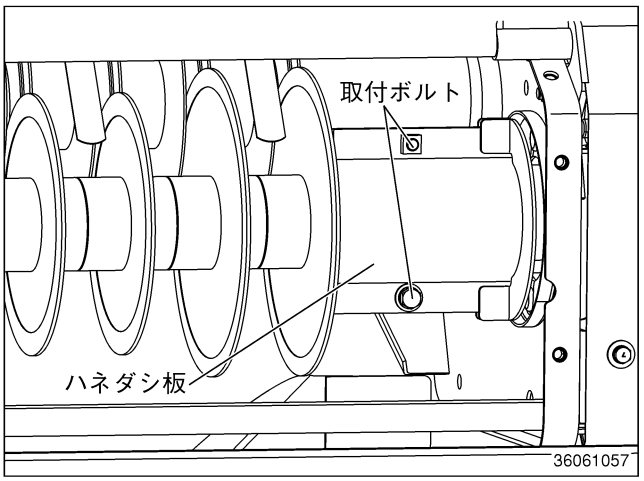
(3) ボルト２個所を外して，下図の矢印方向に倒します。

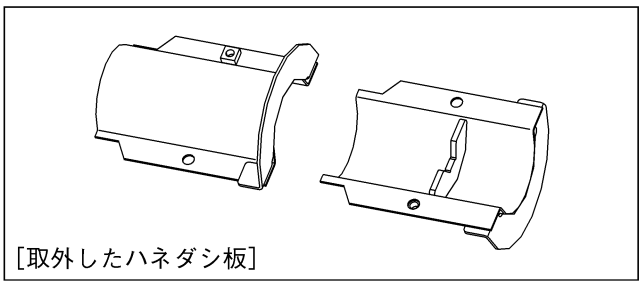


(4) カッタ後面のカバーを外します。
・カバーの取付ボルトは下記の 3 個です。このボルトを取外してカバーを外します。

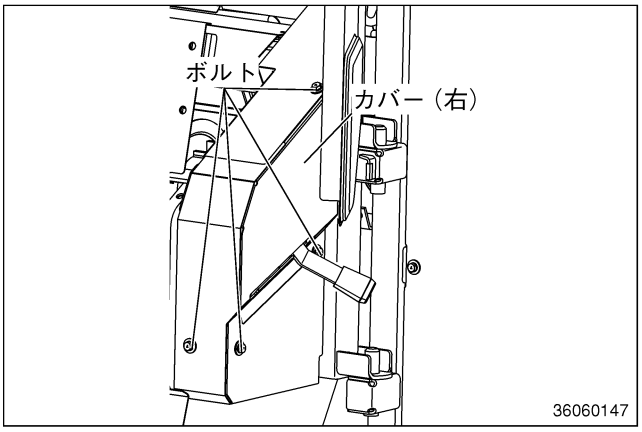


(5) ハネダシ板の取付ボルト（2 個）を外して，ハネダシ板を取外します。

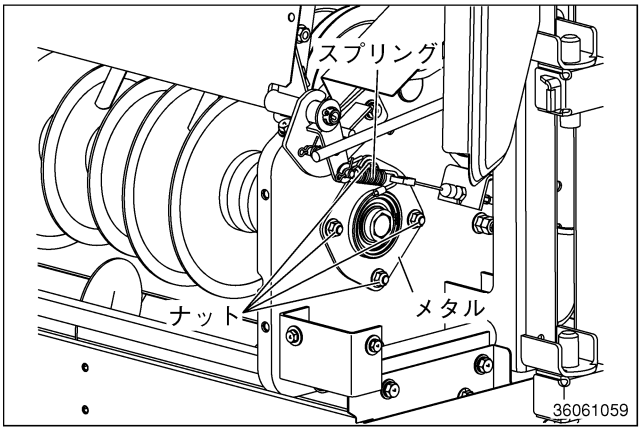




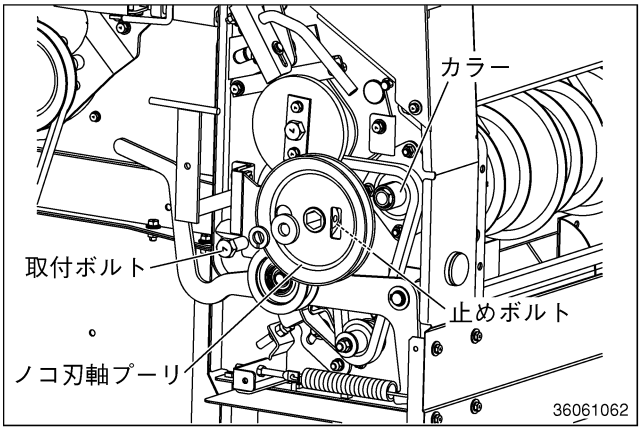
(6) カバー（右）のボルトを外し，カバー（右）を取外します。



(7) メタルのナットを外し，スプリングを上に上げながらメタルを取外します。

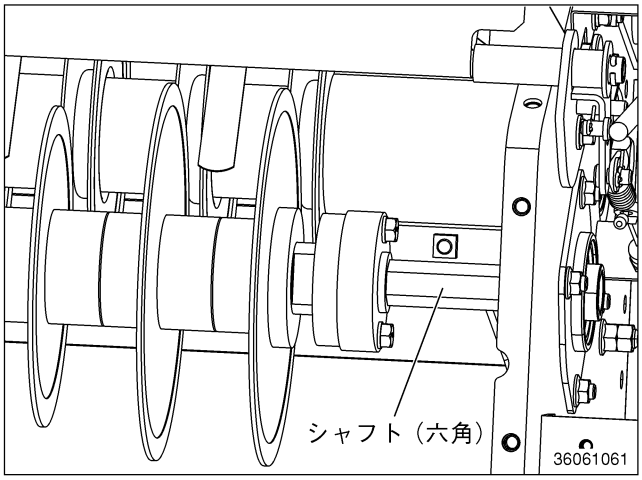


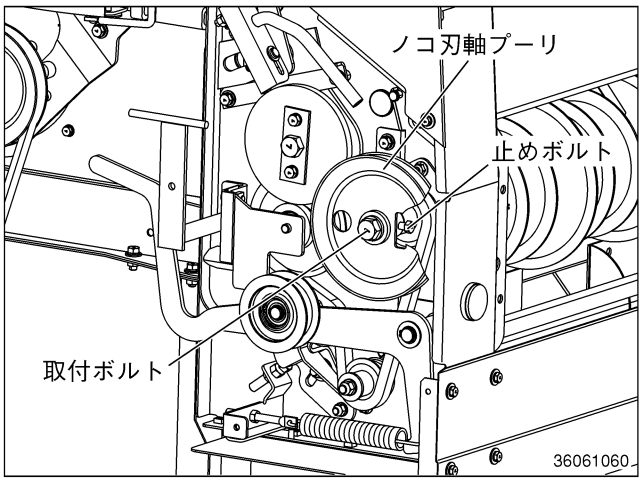
(8) ノコ刃軸プーリの取付ボルトと止めボルトを外しプーリ，カラーを外します。



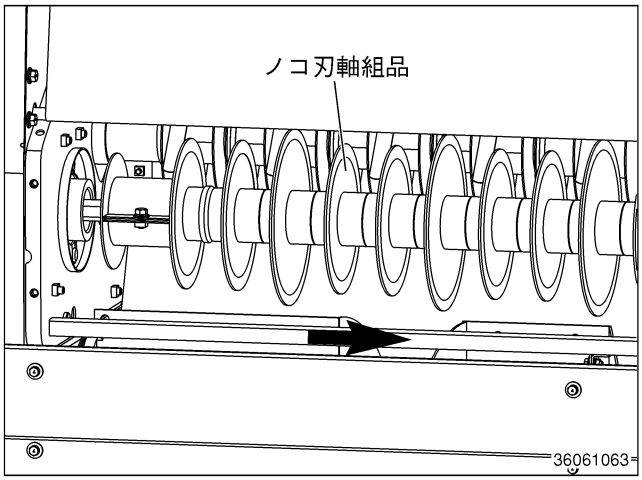
取扱いのポイント

●スパナで取付ボルトを回すと，ノコ刃軸ごと回転してボルトがゆるみません。ノコ刃軸を固定するには，ハネダシ板の中のシャフト（六角）をスパナで固定して行うと容易に外れます。



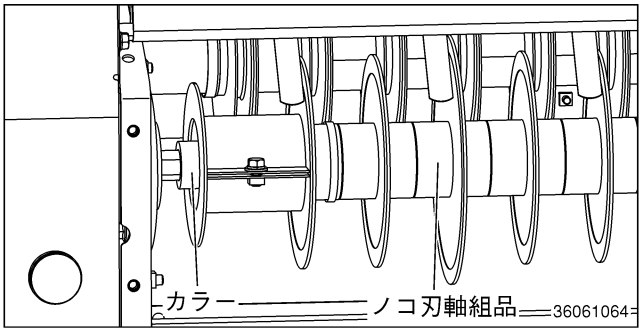


(9) 矢印の方向にノコ刃軸組品をずらしながら外します。



取扱いのポイント

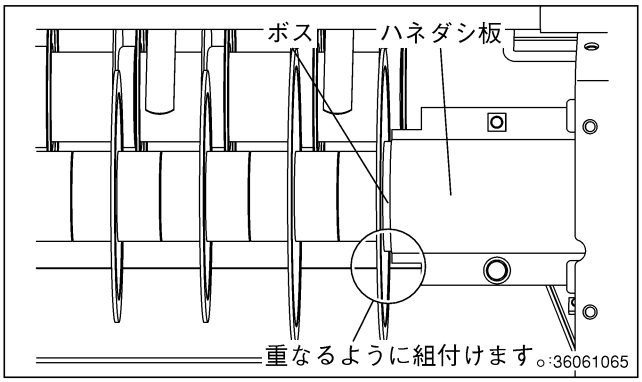
●ノコ刃軸組品のシャフト部にカラーが入っています。落とさないように注意してください。また，組立時に忘れずに取付けてくださだい。



取扱いのポイント

●ノコ刃軸組品を組付けるときは取外しと逆の手順で行なってください。

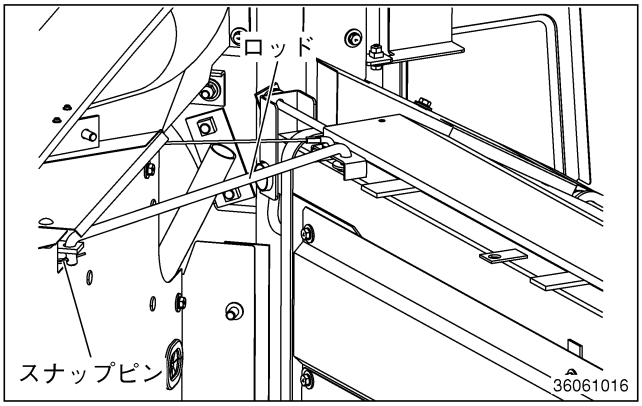
●ハネダシ板を組付けるときはボスとハネダシ板が重なるように組付けます。



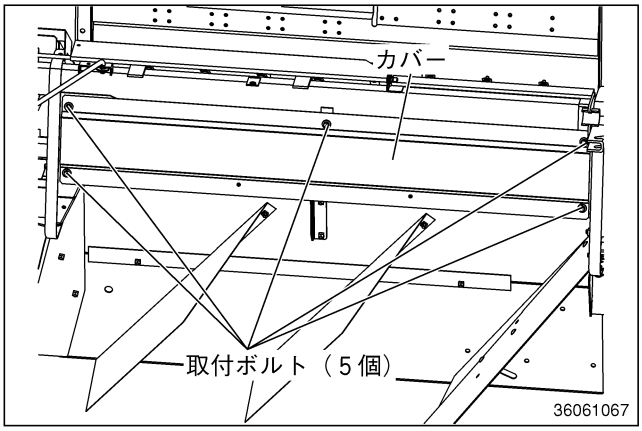
❷ スターホイル軸の交換

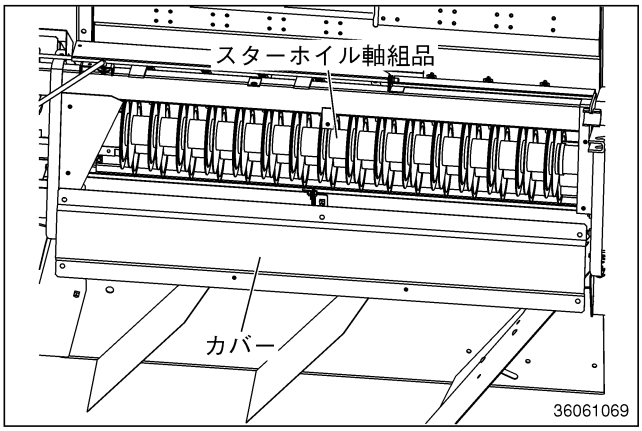
(1) サイドカバーを取り外し，排ワラ切替レバーを《**カッタ**》位置にし，ボルト 2 個所を外してメタル位置を倒します。（5 ページ参照）

(2) カッタをオープンし，ロッドで固定します。

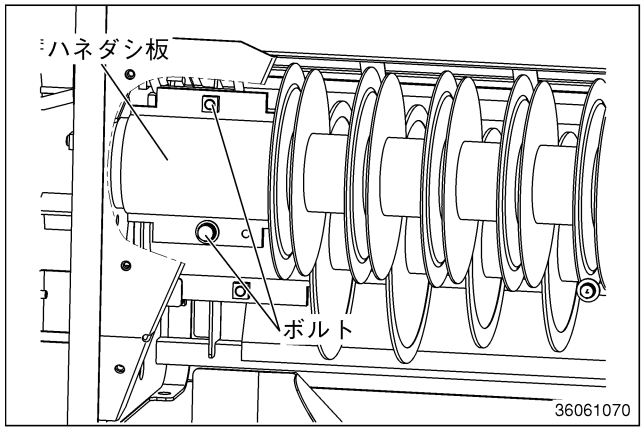


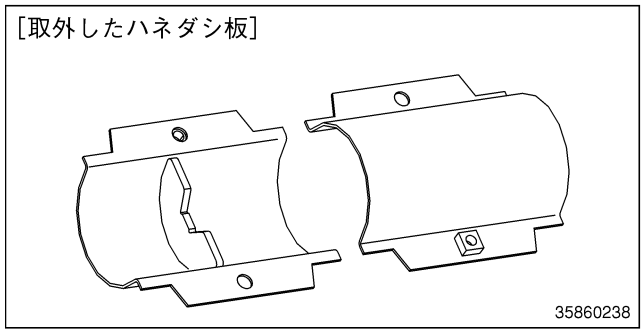
(3) カッタのカバーを外します。



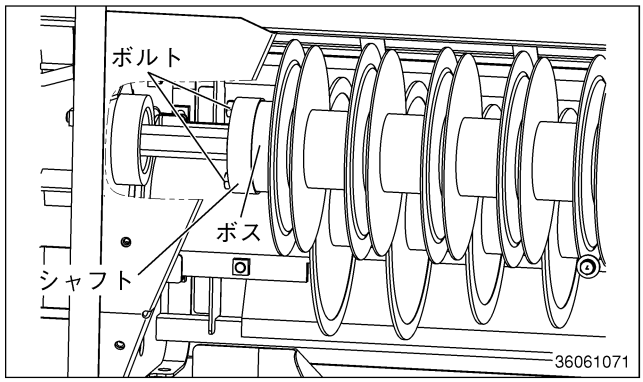


(4) ボルト(２個)を外してハネダシ板を外します。



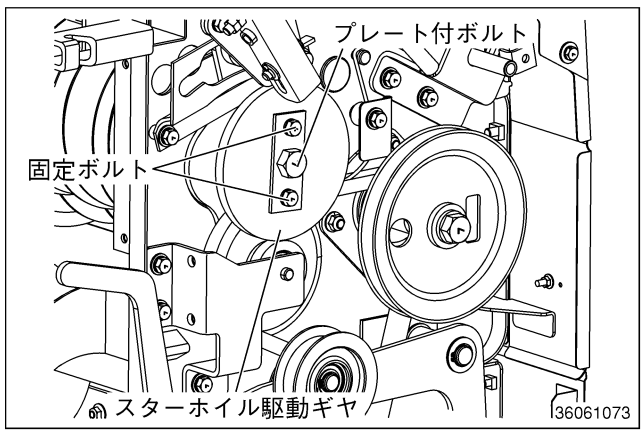


(5) シャフトとボスを固定しているボルト（２個）をゆるめます。

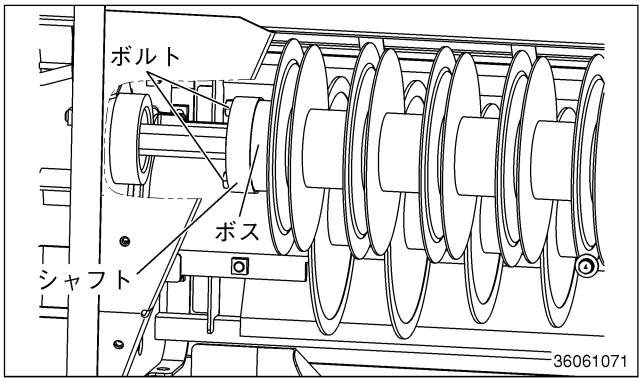


(6) スターホイル駆動ギヤを固定しているプレート付ボルトの固定ボルト（２個）を外します。

(7) プレート付ボルトを外します。

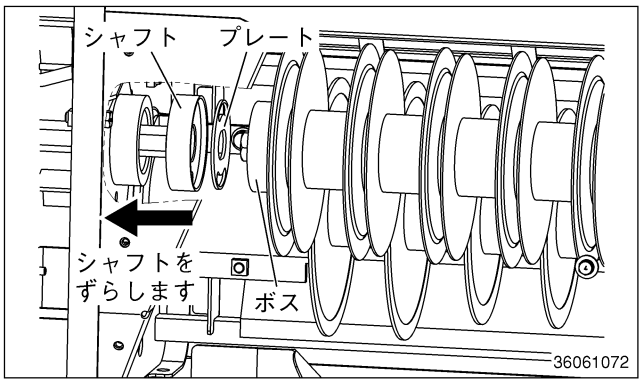


⑻ シャフトとボスを固定しているボルト（２個）を外してシャフトとボスを分離します。

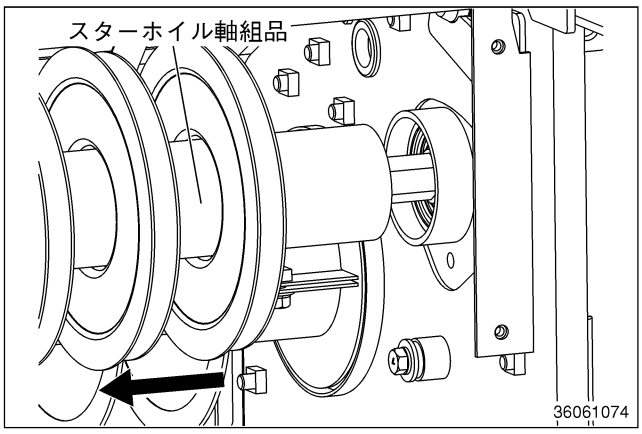


取扱いのポイント

● ボスとシャフトの間にプレートが入っています。落とさないように注意してください。また，組立時に，忘れずに取付けてください。

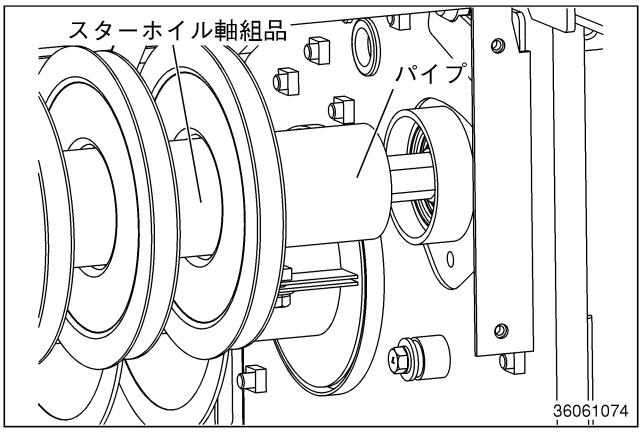


⑼ 矢印の方向にずらしながら，スターホイル軸組品を外します。



取扱いのポイント

● スターホイル軸組品のシャフトにパイプが付いています。落とさないように注意してください。また，組立時に，忘れずに取付けてください。



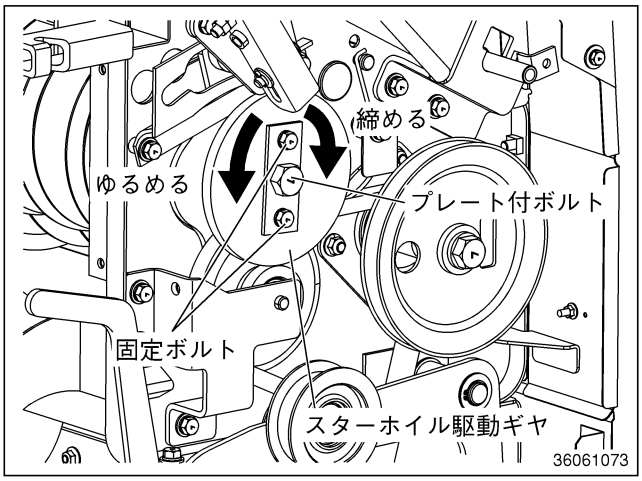
取扱いのポイント

● スターホイル軸組品を組付けるときは取外しの逆の手順で行なってください。

❸ ノコ刃とスターホイルのスキマ調整

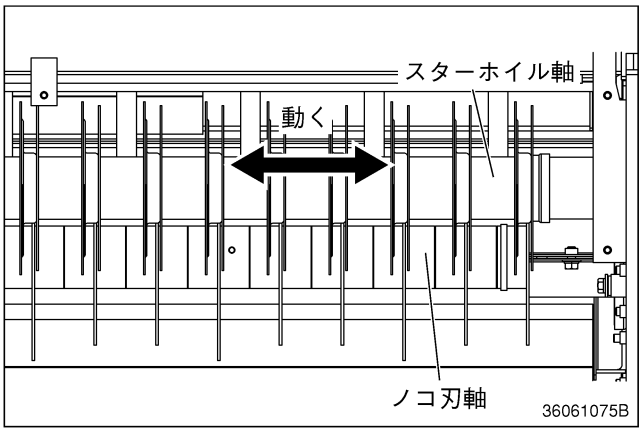
⑴ カッタをオープンし，ロッドで固定します。

⑵ スターホイル駆動ギヤを固定しているプレート付ボルトの固定ボルト（２個）を外します。

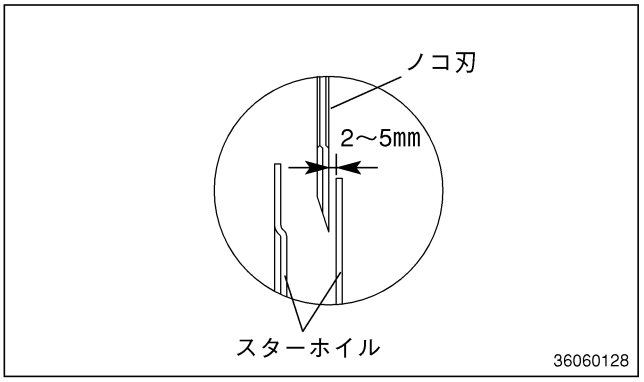


⑶ プレート付ボルトを締め込むと（あるいはゆるめると），スターホイル軸が少しずつ動きます。

⑷ カッタのカバーを外した状態で，下から目視でスキマを確認します。



(5) ノコ刃とスターホイルのスキマが「2～5㎜」になるようにプレート付ボルトを回して，調整終了後は固定ボルトで固定します。



(6) カッタのカバーを取付け，カッタを閉めます。

(7) メタル位置を戻しボルトで固定します。（5ページ参照）

(8) 取外したカバーを全て取付けます。

❺ 刃の交換のしかた

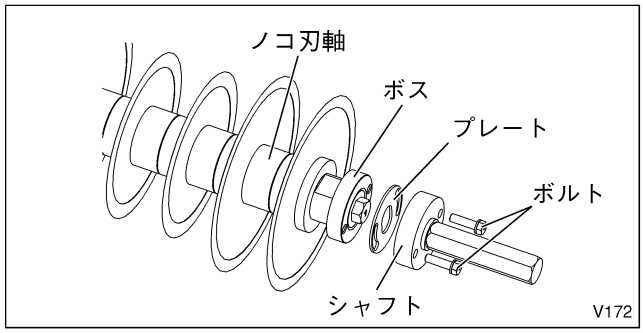
⚠危険 傷害事故防止のために

◆刃の交換作業は2人作業で行なってください。

◆刃の交換のときは厚手の手袋を着用し，刃先に手が触れないようにしてください。

(1) 刃先を傷つけないよう板または布を下に敷いてください。

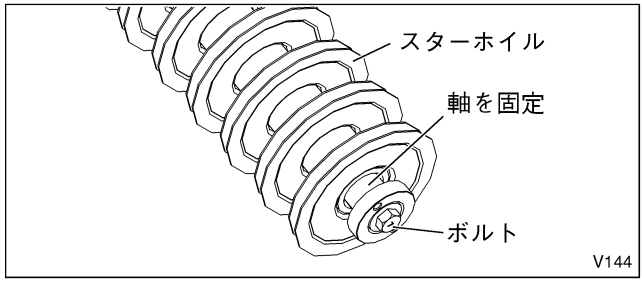
(2) ノコ刃軸は，シャフトとボスを固定しているボルト（2個）を外して，分離します。



取扱いのポイント

●ボスとシャフトの間にプレートが入っていますので，組立時に忘れずに取付けてください。

(3) ノコ刃やスターホイルは片方のスパナで軸を固定し，先端のボルトを外します。



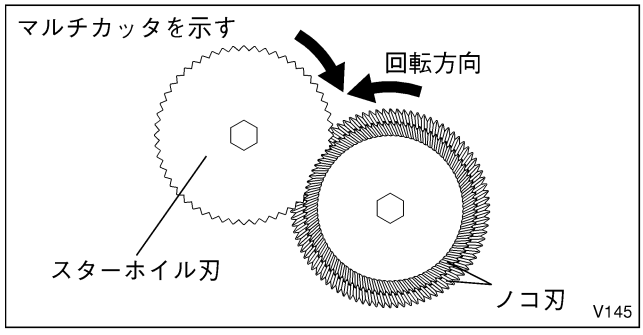
(4) 軸にそって部品を取外します。

(5) 作業後，カッタを閉じカッタサイドカバーを取付けます。

取扱いのポイント

●カッタはギヤ側が，組立て基準になっています。刃の交換後，スターホイル刃とノコ刃の接触がないことを，確かめてください。刃のスキマは2～5㎜が最適です。

●ノコ刃，スターホイル刃の取付けのときは刃の方向を間違えないように，元通りに組付けます。



D463型ディスクカッタ ノコ刃軸，スターホイル軸 組　み　立　て　要　領

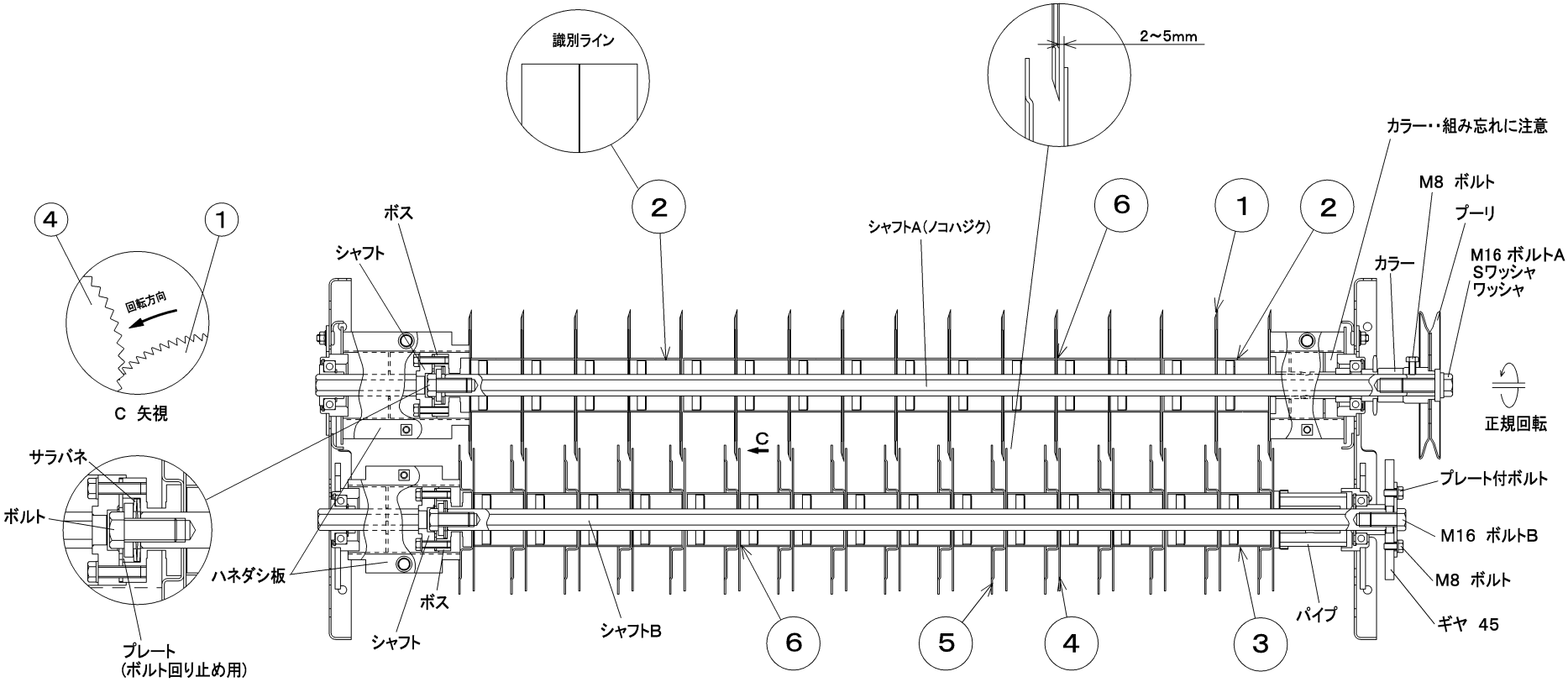
取扱いのポイント

- 分解・組立ては図の通りに行います。
- 組立ては分解した逆の順序で組付けていきます。順序を違えるとスターホイル刃とノコ刃が合わなくなります。

組付要領

1. 本機の取り説《カッタのオープンの仕方》を参照し、カッタをオープンします。
2. 刃の組み付け方向に、注意してください。(C 矢視参照)
3. シャフトA, シャフトBを組み立てる際にはシャフトを垂直に立てて組付け、各部品がシャフトに対し垂直になるように組み立てます。
   識別ライン付きをシャフトA(ノコハジク)側に取り付けます
4. パイプアッシーの識別に注意し挿入方向は図示通りに組立てます。
5. サラバネの組み付け方向は、下図の通りとし、ボルトの締め付けトルクは64～74N・m(650～750kgf・cm)とする。(2カ所)
6. M16ボルトAは、スリーボンド1344N相当品を塗付し、64～74N・m(650～750kgf・cm)にて締め付けます。
7. ①ノコハと ④ スターホイルバのスキマは、2～5mmになるようM8ボルトを締め付ける前にM16ボルトBをギヤ45に対し回して、ジクアッシーをスライドさせ調整します。
8. 7項にてスキマ管理ができない場合には、⑥ ライナにて調整し直してください。
9. 組み換え終了後、手でゆっくり正規回転し刃のスキマの管理ができているか確認願います。

番号	部 品 名 称	部 品 番 号	16枚刃の総個数
1	ノコハ(φ160)	3830 0415 000	16
2	パイプA アッシ	3574 8786 000	15
3	パイプB アッシ	3574 8816 000	15
4	スターホイルバ	3574 8808 000	16
5	オサエバン	3574 8813 000	16
6	ライナ	3829 0518 000	(6)必要に応じ



36060150

付　　表

1．主要諸元

型式名				三菱VY463	三菱VG563	
区分				ET	ET	H
車両型式名				三菱　KDN－VC63A		
機体寸法（格納時）	全長		(mm)	4,350		
	全幅		(mm)	1,990	2,020	
	全高		(mm)	2,360	2,360	
機体質量（重量）			(kg)	2,900	2,975	
エンジン	型式			三菱S4Q2－T		
	種類			水冷４サイクル４気筒ディーゼルターボ		
	総排気量		(L{cc})	2.505 {2,505}		
	出力／回転速度		(kW{PS}/rpm)	46.6 {63.4} /2800		
	使用燃料			ディーゼル軽油		
	燃料タンク容量		(L)	60		
	始動方式			セルモータ式		
	バッテリ		(V·Ah)	12・55		
走行部	クローラ	幅×接地長	(mm)	450×1,670		
		中心距離	(mm)	1,030	1,080	
		平均接地圧	(kPa{kgf/cm²})	18.9 {0.193}	19.4 {0.198}	
	変速方式			油圧モータ式（HST）		
	変速段数		(段)	前進無段，後進無段（副変速２段）		
	走行速度(m/s)	前進		中速0～1.60，高速0～2.60	中速0～1.40，高速0～2.28	
		後進		中速0～1.60，高速0～2.60	中速0～1.40，高速0～2.28	
刈取部	刈取り条数		(条)	4	5	
	デバイダ先端間隔		(mm)	1,450～1,500	1,700～1,750	
	刈取装置形式			往復動刃式（ツイン）		
	刃幅		(mm)	1,440	1,690	
	変速段数		(段)	2（車速連動式）		
	刈高さ範囲		(mm)	40～150		
	こぎ深さ調節方式			電動式（自動，手動併用）		
脱こく部	脱こく方式			複胴下こぎ軸流式（増速ツインこぎ胴）		
	こぎ胴	径×幅	(mm)	410×810		
		回転速度	(rpm)	前457・後562		
	処理胴	径×幅	(mm)	140×880		
		回転速度	(rpm)	1,545		
こく粒処理部	こく粒処理方式			グレンタンク式（オーガ排出）		
	タンク容量		(L)	1,500		
排ワラ処理装置				ディスク形カッタ		
適応作物全長			(mm)	550～1,300		
倒伏適応性			(度)	追刈：85°以下・向刈：70°以下		
作業能率			(分/10a)	10～53	10～45	
運転免許				大型特殊免許		

・この主要諸元は，改良のため予告なく変更することがあります。

2．アタッチメント（別売り）

No	型　式	品　名	備　考
基本作業機・部品	KN－Y463	自動スライドノッタ	株元・穂先結束両用，大玉バスケット付
	R－KSY60	スタンド装置	
	S－Y60D	ディスクカッタ用ドロッパ	装着時拡散ラセンキット（463E－SKIT）が必要
	D－KNVY1	ノッタ用ドロッパ	
	463E－SKIT	拡散ラセンキット	
	SP－Y60W	スーパーデバイダ	2連（VY型用）
	SP－Y463TQ	スーパーデバイダ	3連用追加キット（VY型用）
	SP－G563F	スーパーデバイダ	4連（VG型用）
	CH－60	コンバインフード	
	3606 9750 000	方向自動キット	
	3586 8637 000	スタンド	刈取部脱着用（2個必要）

